

山田地域協働合校事業

(山田学区まちづくり協議会次世代いきいきグループ)

1 【活動の趣旨】

山田に住む若者が、まちづくり活動を通して「生きる力」と「郷土愛」を育むことにより、将来のまちづくりの担い手に繋がる人材の育成を目指す。

2 【特徴的な活動内容】

(1) 「絵付け体験」

山田学区子ども会指導者連絡協議会が、地域の大人と子どもが企画・運営を通してふれあう事業として信楽で絵付け体験をした。日時：7月8日(土) 13時～16時30分

参加者：子ども25名、大人9名



【絵付け体験】

(2) 「2023やまだアドベンチャーハウス」

今年度も企画チャレンジャーを募集し、中高生企画によるアドベンチャーハウスを実施した。

日時：11月4日(土) 9時30分～20時

場所：山田まちづくりセンター、山田こども園、神社

参加者：小学4～6年生18名、中高生19名、大人16名

活動内容：①ニュースポーツ②ジェスチャーゲーム等の

ゲーム③バーベキュー④度胸試し⑤かまど体験



【ニュースポーツ】

(3) 「かまどフェス」 (実施予定)

企画チャレンジャーが企画、運営する。

日時：3月2日(土) 16時～19時

参加予定：中高生33名、大人8名

活動内容：①メスティン料理②宝さがしゲーム

③かまど体験



【ジェスチャーゲーム】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・(1)は団体と協力し、地域の子どもの育成を図った。
- ・(2)(3)は、地域の子どもや若者が交流する事業を実施した。グループ員の大人も担当を持ち、中高生の企画・進行の補助を行った。

4 【事業の成果】

創意工夫の中で、次世代育成の取り組みができた。取り組みを通して小学生と中高生と大人など地域内の関わりがより密接になっている。小学生は、身近な中高生が企画し一緒に活動することで、自分も中高生になったら運営側でアドベンチャーハウスに関わりたい、小さい子のサポートをしたいと考える子どもが増えてきた。中高生は、準備・企画・進行の大変さを感じながらも、小学生が喜んで活動しているのを見て達成感があつたようだ。来年も企画から参加したいと意欲を見せてくれた。



【バーベキュー】

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

中高生とはグループLINEやメールを活用しての連絡・調整が不可欠であった。また、会議は参加しやすい日曜日午後を主とした。アドベンチャーハウス当日は部活があつたが中学校と調整を計った。今後もヤマミラ、山田学区子ども会指導者連絡協議会や、更に青少年健全育成学区民会議とも連携しながら、継続できる体制づくりを考えていきたい。



【度胸試し】